

JRAC

JRACのご案内

JPIC読書アドバイザークラブ



JPIC読書アドバイザークラブ(JRAC)

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町2-2-30 共同ビル神保町4F (JPIC内)
TEL 03-5211-7282 FAX 03-5211-7285
[事務局 11:00~17:30]
E-MAIL jrac@jpik.or.jp
URL <https://jrac.top/>

JRAC(ジャラック/JPIC Reading Advisers Club)

1993年9月に設立されたJRACは[JPIC読書アドバイザー養成講座]の修了生有志による自主運営組織で、以下を目的に活動しています。

- ◆読書アドバイザーとしての資質の向上
- ◆会員同士の交流と情報の共有・交換
- ◆読書の楽しみの研究、読書活動の活性化
- ◆読書を通じた自己実現、活動の場の創造

* JPIC(ジェイピック/Japan Publishing Industry Foundation for Culture)
一般財団法人 出版文化産業振興財団の略称



1



2



7

オンライン講演会などで会員の資質の向上

リアル・オンラインの読書会によって本の楽しみを深めあったり、テーマを決めて学習会を行ったり、作家を招いての講演会などを企画・開催し、会員の資質の向上に努めています。

情報の共有

会報誌『JRAC通信』や『じゃらっくジャンクション(JJ)』の発行。会員同士がそれぞれの活動に役立っているだけでなく、会員以外の方へJRACの活動を報告する役割も担っています。



読書の楽しみを伝える

書店や図書館、幼稚園、学校をはじめ、高齢者施設、病院、家庭文庫などでの読みきかせをしています。また、JPICや企業の要請を受けて、本に関するイベントのお手伝いをしています。

3

4

読書の楽しみを広げたい...
本と人をつなげたい...
読書や本を通じた活動の場を持ちたい...
一人ひとりの思いを胸に
さまざまな場所で活動しています。



5

6

JPICと絵本大賞を創設

2019年にJPIC『この本読んで!』とのコラボ企画「親子で読んでほしい絵本大賞」を創設しました。毎年1年かけて大賞、入賞作、ベビー賞を選考し贈賞式にて発表。その後、この賞をテーマに、全国各地でおはなし会やブックフェアなどを展開しています。

順位	タイトル	著者	出版社	内容	賞状
1位	二平方メートルの世界	文・野田浩之 絵・川口松太郎	小学館	小学館の月刊誌『小学館』の編集者である野田浩之と、小学館の編集者である川口松太郎の対談集。野田浩之が小学館に入社してからの経緯や、川口松太郎が小学館に入社してからの経緯や、二人の対談が収録されている。	大賞
2位	ぼくはぼくをこころで	文・山本浩之 絵・山本浩之	小学館	山本浩之の代表作『ぼくはぼくをこころで』の続編。主人公の成長が描かれている。	入賞作
3位	あふみんぐのうた	文・山本浩之 絵・山本浩之	小学館	山本浩之の代表作『あふみんぐのうた』の続編。主人公の成長が描かれている。	ベビー賞

8



9

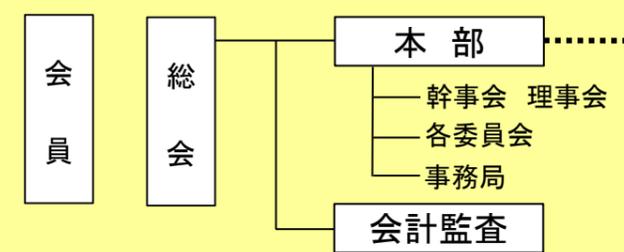


仕事を通じて貢献

書店や販売会社、出版社、図書館など自分の職場で、JPIC読書アドバイザー養成講座で学んだことを活かして働いている会員もいます。

JRACの組織

総会で方針を決定し、幹事会・理事会・各委員会・事務局がサポートと運営を行っています。



＜会員の自主的な活動＞

- ・支部、学習グループ
- ・各種企業、団体、公共施設
- ・個人

【幹事会の構成】 代表幹事・副代表幹事・事務局長・副事務局長・各委員会担当幹事
【理事会の構成】 理事(幹事会メンバーを含む)

JRACの活動

本部は、総会で決められた方針に沿って広報活動、交流活動、学習活動などの事業を進めます。

具体的には、『JRAC通信』『じゃらっくジャンクション(JJ)』の発行、HPの運営、支部・学習グループの承認と支援、交流活動、JPICや他団体との連携を行っています。

- 1 書店や幼稚園での読みきかせ
- 2 多目的スペースを利用したおはなし会
- 3 病院での図書貸し出しサービス
- 4 「上野の森親子フェスタ」の手伝い
- 5 ブックフェアなどイベントの手伝い
- 6 「親子で読んでほしい絵本大賞」のリリース
- 7 学習イベントの開催
- 8 年2回刊「JRAC通信」
- 9 月刊「じゃらっくジャンクション(JJ)」
- 10 書店に勤務する会員